

2017 年度

韓国派遣留学報告書

実習先：慶熙大学

実習期間：9月5日（火）～12月28日（木）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016072
竹之内 七海

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
	4 - 1 研修のスケジュール	4
	4 - 2 研修の詳細	5
5	所感	7
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	研修日誌	8
--	------	---

1 研修先及び実習期間

研修先：慶熙大学 国際教育院

研修期間：平成 29 年 9 月 6 日（水）～平成 29 年 12 月 22 日（金）

※出国は 9 月 5 日（火）、帰国は 12 月 28 日（木）

2 研修先概要

(1)大学について

慶熙大学は、韓国の首都ソウルに位置する。1949年に創立された私立大学である。ソウルキャンパス、水原キャンパス、光陵キャンパスの3つのキャンパスがあり、文系から理系まで20以上もの学部を構え、様々な分野の研究を行うことができる。数ある大学の中でも、特に韓国語教育に力を入れていて、毎年40カ国から来る1200人以上の留学生が韓国語を勉強している語学制度の充実や国際交流プログラムを実施するなど韓国の国際化をリードする大学であり、現在50カ国150校と連携を組んでいる。韓国の中ではかなり有名な大学に成長した。

(2)大学で行われている教育について

慶熙大学は、1クラスの人数は大きくなりすぎないように配慮がなされており、少人数制で、充実した環境の中で学習を行うことができる。級は、初級・中級・上級の3つに分けられており、さらにその級ごとに初級1、初級2と2つのレベルに分けられ全6段階となっている。このように細かくレベル分けされているため、自分に合ったレベルの韓国語を着実に身に着けることができる。

大学には、他にもトウミ制度（チューター）が充実しており、各留学生に1名の韓国人学生がつく。トウミは、韓国語学習や会話の上達、交流を通して韓国の文化を習得できる等、留学生の韓国での生活を助けてくれる制度である。

3 研修目的

今回の研修の目的は、韓国語能力を上達させることと異文化理解である。

語学の上達にはやはり、現地へ行き、ネイティブな言語に直接触れることだと感じ、文化にも触れることができると考え、留学を決意した。日本にとどまり韓国語の授業を受講していてもネイティブな韓国語を身に着けることはできないため、現地に行けば、実際に大学に入ってから1年ほど学んだ韓国語の実力を知ることができるしネイティブな韓国語も身につくだろうと考えた。そして、留学先の慶熙大学では世界各国の留学生が集まるため、一緒に授業を受け、コミュニケーションをとる中で文化の違いを感じることもあるだろう。その中で、韓国や各国の文化を日本と比較し、知る機会にしたい。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	午前	午後
9	5 (火)		到着・入寮
	6 (水)	オリエンテーション・入校式	トウミ懇談会
	7 (木)	韓国語	
	8 (金)	韓国語	
	11 (月)	韓国語	セミナー
	12 (火)	韓国語	特講 (韓国及び韓国文化)
	13 (水)	韓国語	韓国の歌
	14 (木)	現地学習	
	15 (金)	韓国語	
	18 (月)	韓国語	韓国の映画
	19 (火)	韓国語	特講 (韓国の礼節)
	20 (水)	韓国語	韓国の歌
	21 (木)	現地学習	
	22 (金)	韓国語	セミナー
	25 (月)	韓国語	韓国の映画
	26 (火)	オリエンテーション・入校式	特講 (韓国の大衆文化)
	27 (水)	韓国語	韓国の歌
28 (木)	韓国語	セミナー	
29 (金)	韓国語		
10	2 (月)	秋夕 (チュソク) 休み	
	8 (日)		
	9 (月)	韓国語	韓国の映画
	10 (火)	韓国語	セミナー
	11 (水)	韓国語	韓国の歌
	12 (木)	韓国語	特講 (外国人ハングル書初め大会)
13 (金)	韓国語		

10	1 6 (月)	韓国語	韓国の映画
	1 7 (火)	韓国語	特講 (韓国の遊び)
	1 8 (水)	韓国語	韓国の歌
	1 9 (木)	韓国語	セミナー
	2 0 (金)	韓国語	
	2 3 (月)	韓国語	韓国の映画
	2 4 (火)	韓国語	特講 (韓流と韓国文化)
	2 5 (水)	韓国語	韓国の歌
	2 6 (木)	韓国語	セミナー
	2 7 (金)	韓国語	
	3 0 (月)	韓国語	韓国の映画
	3 1 (火)	韓国語	特講 (韓国の歴史)
11	1 (水)	テスト	韓国の歌
	2 (木)	テスト	
	3 (金)	テスト返却・韓国語	
	6 (月)	韓国語	韓国の映画
	7 (火)	韓国語	韓国の歌
	8 (水)	韓国語	特講 (テコンドー)
	9 (木)	韓国語	セミナー
	1 0 (金)	韓国語	韓国の映画
	1 3 (月)	韓国語	
	1 4 (火)	韓国語	
	1 5 (水)	現地学習	
	1 6 (木)		
	1 7 (金)	韓国語	セミナー
	2 0 (月)	韓国語	
	2 1 (火)	韓国語	特講 (習字)
	2 2 (水)	韓国語	韓国の歌
	2 3 (木)	韓国語	
	2 4 (金)	韓国語	
	2 7 (月)	韓国語	韓国の映画
	2 8 (火)	韓国語	特講 (公演観覧)
2 9 (水)	韓国語	韓国の歌	
3 0 (木)	韓国語	セミナー	
12	1 (金)	韓国語	

12	4 (月)	テスト	韓国の映画
	5 (火)	テスト	特講 (k-pop ダンス)
	6 (水)	テスト返却	韓国の歌
	7 (木)	クラスの集まり	
	8 (金)	修了式	
	1 1 (月)	韓国語能力試験特別授業	韓国の映画
	1 2 (火)	韓国語能力試験特別授業	特講 (韓国現代社会)
	1 3 (水)	韓国語能力試験特別授業	韓国の歌
	1 4 (木)	韓国語能力試験特別授業	セミナー
	1 5 (金)	韓国の映画	韓国語能力試験特別授業
	1 8 (月)	韓国語能力試験特別授業	韓国の映画
	1 9 (火)	韓国語能力試験特別授業	特講 (韓国の教育)
	2 0 (水)	韓国語能力試験特別授業	修了式
	2 1 (木)	韓国語能力試験特別授業	韓国の歌
	2 2 (金)	セミナー発表	
	2 5 (月) 2 7 (水)	自由研修	
2 8 (木)	帰国		

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)入校式

慶熙大学内にある大きなホールで行われた。国際教育院で共に韓国語を学ぶ各国の留学生が集り、学長のお話を聞く。留学生がどこの国からきているのかという紹介もされ、先生の紹介もされた。

ii)韓国語

月曜日から金曜日まで毎日ある。1～4時間目までの各50分授業。1, 2時間目に文法、3, 4時間目は日替わりで、話す・聞く・書くの授業を受ける。授業のなかでクラスメイトとペアを組み、授業で学んだ文法を使って話す練習や、CDを聴き、聴く力をトレーニングすることでネイティブな韓国語を習得することが主な内容であった。課題も出されることがあり、日記や例文づくりでさらに韓国語を身に着ける。

iii)韓国の映画

先生が用意してくれる韓国の映画やドラマを字幕なしで見て、内容や映像にでてくるセリ

フについて話し合う授業であった。韓国語能力を高めるための授業であった。

iv) 韓国の歌

週ごとに発表者を決め、クラス一人一人が自分の好きな曲を、パワーポイントを使い発表する。発表者が用意した歌をみんなで聴き、映像を見たり、歌詞を見ながら聴いた後、歌を聴きながら穴埋め式で聴こえてくる歌詞を書きとる。韓国での最近流行している曲など様々なジャンルの歌に触れることができ、ハングルをスラスラ読む読解力や、発音能力をつけることのできるものであった。

v) セミナー

いくつかのグループに分かれて、グループごとに先生が用意した韓国にまつわるテーマについて韓国語でプレゼンを行った。最後の授業では、個人で調査したいテーマを決め、プレゼンを行った。

vi) 特講

韓国の文化について学ぶための授業。お偉いお方のお話を聞いたり、韓国の歴史や、遊び、ダンスについて深く学習できるものであった。

vii) 現地学習

短期コースでは、国立中央博物館へ行ったり、ナンタという公演を見たり、ソウルNタワーを上ったりした。

秋学期では、クラスの人々と1泊2日でソラク山へ行き、1日目の夜にはレクリエーションをしたり他クラスの人々とも交流を深めることができた。

viii) 韓国語能力試験特別授業

聞く・読みの TOPIK 問題を試験方式で解く。自己採点し、難しい問題や間違いが多い問題を先生が丁寧に解説してくれる。自分の韓国語のレベルを知ることができた。

ix) 修了式

プログラム・学期が終わると行われる式である。成績優秀者や国際教育院の課程を修了した人が学長によって表彰される。

x) 自由研修

自ら、自由に韓国をまわることができ、韓国の街並みを散策したり、文化に触れたり観光やショッピングを楽しむことができる期間。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i)韓国語を上達させること

この報告書を執筆している時点で、帰国してから韓国語の試験など受験していないため、上達したという成果を数字として示すことができない。しかし、自身の実感としては、留学前より韓国語が上達してのではないかと感じる。留學生活の初めの頃は、ネイティブの韓国語を聞き取ることや、話すことに苦戦し、帰国前に韓国語をしっかりと身に付けられるか不安だった。慶熙大学で日々学習をし、放課後や休日での外出で韓国語に触れるうちに、クラスメイトや先生、店員さんとのコミュニケーションで聞き取る力や話す力に自信がついていった。授業では、韓国で生活をする上で必要な韓国語を学ぶことができたため、日常生活で実際に使う機会も多く、簡単な会話しかできないが、今回の留学を通して留学前と比べ、確実に韓国語能力が上がった。

ii)異文化を理解すること

異文化は、秋学期のクラスメイトとのコミュニケーションや、韓国で生活するうちに自然と理解することが出来た。同じアジア圏にあり近隣国であるため、韓国は日本と似ている国だと思っていたが、実際には異なる部分が多くある国だと感じ、常に日本と比較しながら生活することで、自分のなかでも考え方が変化したり、こういう生活の仕方もあるのだと様々な角度から考えることでいろんな発見をすることができた。

6 反省・課題

約4ヶ月という期間であったが、非常に多くのことを学ぶことができ、日本にいたときの自分より少しは成長して帰国することができた。

しかし、自分の韓国語能力は現段階で満足できるものではないので、この留学で身に付けた韓国語能力を低下させることのないよう、さらなる向上を目指し勉強を続けたい。

謝辞

今回の留学において私たちに親切に指導をしてくださったパク・ソニョン先生、キル・ジス先生、イム・リナ先生、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の派遣留学担当の先生方、関係者の方々には心より感謝いたします。最後に、本セミ新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本セミナー参加が実現し、とても充実した体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：研修日誌

9月5日 1315 火曜日 午後
出発 新潟空港
担当 伸 銀珠 先生 パク・ソニョン先生
内容 ・伸 銀珠先生と共に新潟空港から仁川空港まで飛行機で移動 ・仁川空港にて出国審査 ・仁川空港にてパク・ソニョン先生と合流 ・仁川空港から寄宿舍までバスで移動 ・寄宿舍に入寮

移動の所感

新潟から韓国までは飛行機で、約2時間で到着するためそこまで疲れることはなかったのだが、空港から宿舎までのバスに乗っている時間が長く疲れた。決められた自分の部屋についたとき、留学に来たのだと実感をした。明日から始まる授業や様々な活動を頑張っていきたい。

9月6日 水曜日
入校式・オリエンテーション 9000-13100
研修内容 ・オリエンテーション ・入校式 ・トウミ懇談会 ・今後の予定について

オリエンテーションの内容

クラス分けのためのテストが行われた。その後、今後のスケジュールを先生にせつめいしてもらい、院内での wi-fi の手続きなどをした。入校式では、学長の演説を聞いた。午後にはトウミと会い、キャンパスの中をトウミに案内してもらった。

9月14日 木曜日
現地学習
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9:00 出発 バスで移動 ・国立博物館見学 ・昼食 ・ミュージカル「ナンタ」観覧 ・Nソウルタワー

現地学習の内容

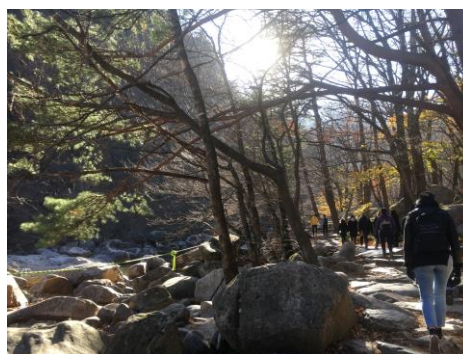
- ・国立博物館 - 朝鮮半島やアジア各国の文化や作品を観覧できる。
- ・ミュージカル「ナンタ」 - 料理をテーマにしたミュージカル。包丁やフライパンなどの調理器具を使い、音を奏でる。
- ・Nソウルタワー - 展望台からソウル市を一望できる。

11月15日 水曜日 ～ 11月16日 木曜日
現地学習（1泊2日）
<p>内容</p> <p>〔1日目〕</p> <p>09:00 出発 バスで移動</p> <p>12:30 昼食</p> <p>14:00~17:00 ソラク山到着</p> <p>17:30 夕食</p> <p>18:40 ホテル Check in</p> <p>19:30~21:00 レクリエーション</p> <p>23:00 就寝</p> <p>〔2日目〕</p> <p>07:30 起床 朝食</p> <p>09:00 ホテル Check out</p> <p>10:40~11:50 海を見学</p> <p>13:00 昼食</p> <p>17:30 到着</p>

現地学習の内容および所感

バスでソウルを出て、ソラク山へ到着。あいにく紅葉はほとんど散ってしまっていたが、山を登り進んでいった。行動はすべてクラスごとだったため、クラスメイトや先生との会話を楽しめた。夕食後ホテルに到着し、初級の生徒全員が集まってレクをした。他クラスの留学生との交流もあり、全員の距離が縮まって良い時間を過ごした。

2日目には朝食をバイキング形式でとり、ホテルを出た後、バスで移動して海に到着した。昼食をとり、最後に観光の伝統家屋を見学し、学校へ帰った。



12月22日 金曜日 午前
韓国研究ゼミナール発表会
内容
・韓国に関する好きなテーマの発表

韓国研究ゼミナール発表会の具体的内容および所感

それぞれが韓国に関する好きなテーマについて調査学習をし、パワーポイントと原稿を韓国語で作成したものをクラスメイトと先生の前でプレゼンする。調べていく中で、自分自身でも日本と比較しながら韓国について知ることができ、発表を聞くことで様々な知識が身についた。発表の準備期間には先生が韓国語のチェックや、内容が膨らむよう、手助けをしてくださり、正しい韓国語で発表ができた。

